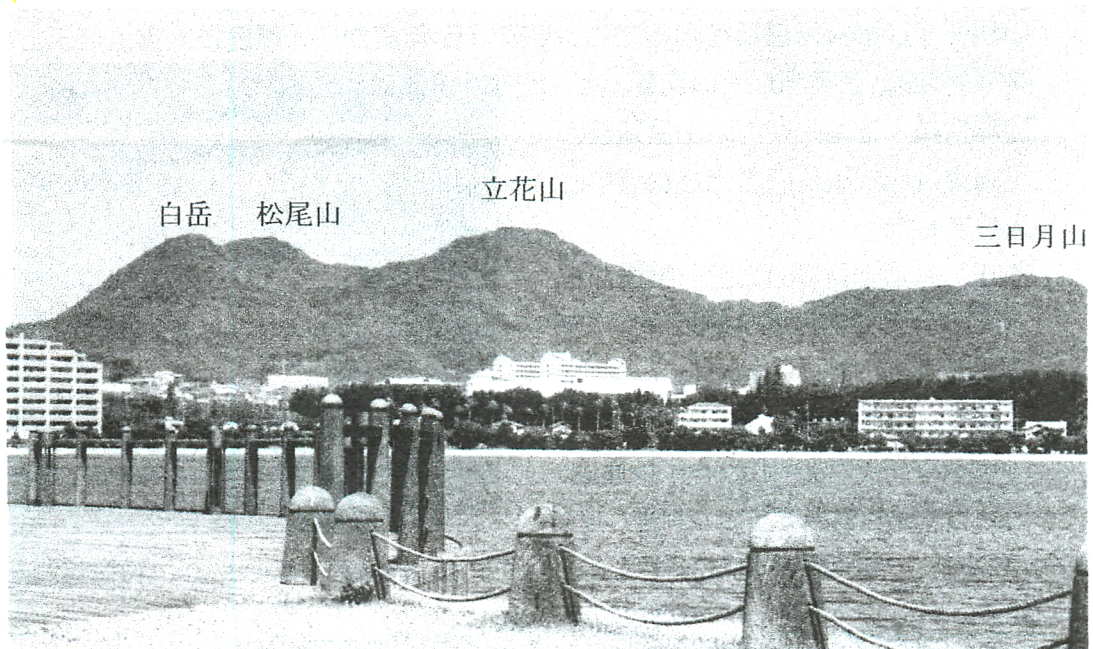


山のトイレ協議会通信

第3号



アイランドシティ外周公園緑地から

目次

| | |
|--------------------|-----|
| 第1回総会報告 | 2 P |
| 宝満山キャンプ場バイオトイレ使用状況 | 4 P |
| 記念講演・後藤利雄氏 | 5 P |
| 水質調査に参加に参加してみませんか | 6 P |

山のトイレ、環境を考える福岡協議会

山のトイレ、環境を考える福岡協議会 第一回総会

平成21年6月21日（日）、太宰府天満宮に程近い「太宰府館」3階の「まほろばホール」において13:00から開催されました。

竈門神社・権禰宜で当協議会運営委員の松大路秀一氏の司会により、山上 司会長の挨拶に続き、来賓の環境省九州地方環境事務所福岡事務所所長の松永洋介氏からご挨拶をいただきました。環境省は近年環境保全対策の一環としての山岳トイレの技術普及を図るため、平成15年度から「環境技術実証モデル事業（*注）」を実施しています。

団体会員・福岡県勤労者山岳連盟の平田真介氏が議長に選出され議事に入りました。

まず、運営委員長の太田 勝氏から2008年度における活動について報告がありました。「山のトイレマナーに対する啓蒙活動」が中心でした。

（内容については、山のトイレ通信・第2号で報告済みですので割愛します。）



つづいて、運営委員の高松登志子さんから会計報告ありましたが、特に質問もなく、共に拍手をもって承認されました。

なお、会計監査をお願いしていた竈門神社の貞方岩戸氏から、適切な会計処理であったとの監査報告をいただきました。

2009年度の活動方針ならびに予算案についても太田委員長から説明があり承認されました。主な活動は、前年度同様、福岡県勤労者山岳連盟との共催によるふるさとの山県民清掃ハイクへの参加をはじめ、各地でのキャンペーンを行ない、山でのトイレマナーに対する啓蒙活動です。地道に続けていくことに意義があると考えております。

また、オーバーユースによる水質の悪化が全国的に問題になっており、いろいろと解決策が模索されてはいますが未だこれが最善策だというものは見出せていません。当協議会でも本年度中に数回、長年、県内の登山者の多い山での水質について採取、検査を続けている福岡県山岳連盟に協力し宝満山などでの水質調査に参加することにしております。

なお、運営委員の一部に変更があり、太田委員長から新委員を含む全員が紹介

されました。

会長ならびに運営委員

◎会長 山上 司 (福岡県山岳連盟 理事長)

◎運営委員長 太田 勝 (九州登山情報センター 理事)

◎運営委員

貞刈 誠 (福岡県山岳連盟) 伊藤 博紀 (西鉄山友会 会長)

豊福 利信 (西鉄山友会 副会長) 松大路 秀一 (竈門神社 禰宜)

副島 勝人 (日本山岳会福岡支部長) 山本 博 (アルパ九州 副会長)

大塚 三紀夫 (福岡県勤労者山岳連盟副会長)

上村 忠彦 (同) 矢田 啓祐 (あだると山の会)

高松 登志子 (あだると山の会) 大日方 武男 (九州の原生林をまもる
福岡の会)

熊手 澄子 (九州の原生林をまもる福岡の会)

◎会計監査 貞方 岩戸 (竈門神社)

最後に、昨年8月に完成し登山者から好評を得ている宝満山キャンプセンター・バイオトイレの現況について、実質的に管理運営されている西鉄山友会の現会長で当協議会の運営委員でもある伊藤博紀氏から、詳細なデータにより説明がありました。40年前にキャンプセンターとトイレが建設されましたが、以後のトイレ管理の苦労話や、トイレ方式の検討、バイオ方式の選定、決定から建設に至るまでの経緯、現在のバイオトイレの仕組みについても説明されました。



九州、とりわけ福岡県の山々は標高の低い山が殆どで、比較的短時間で往復できる山が多く、入山する前にトイレを済ませておけば緊急の場合は別としてみず心配はないのでは、との意見も出され、九州、福岡県に限らず、山岳トイレの必要性、有り様については、安易に作ればよいというわけではなく、以後の管理、費用負担等多くの課題もあり、十二分に検討、論議を重ねて結論を出していくべきだと改めて考えさせられるお話もあり、今後、県内の山のトイレ問題を検討していく際の留意点として大いに参考にしたいと思います。

宝満山キャンプ場・バイオトイレ使用状況（平成20年8月5日～21年8月4日）の1年間

※トイレ使用回数

| | 使用回数 | 使用率 | 1日平均 | 平日の平均 | 日曜日の平均 |
|------|-------|-----|------|------------------|------------------|
| 男子大便 | 2978 | 65% | 8 | 1693 / 298 = 6 | 1285 / 67 = 19 |
| 男子小便 | 12688 | | 35 | 7296 / 298 = 24 | 5392 / 67 = 80 |
| 計 | 15666 | | 43 | 8989 / 298 = 30 | 6677 / 67 = 99 |
| 女子大便 | 3685 | 35% | 10 | 2234 / 298 = 8 | 1451 / 67 = 22 |
| 女子小便 | 4716 | | 13 | 2815 / 298 = 9 | 1901 / 67 = 26 |
| 計 | 8401 | | 23 | 5049 / 298 = 17 | 3352 / 67 = 50 |
| 合計 | 24067 | | 66 | 14038 / 298 = 47 | 10029 / 67 = 149 |

例・男子大便 1693 / 298 = 6 ※日曜日は67日間

平日の298日間のトータル 298日間 平均値

※日曜日の最大回数(11/9)RKB登山大会(登山者1500名)

| | |
|------|-----|
| 男子大便 | 56 |
| 男子小便 | 304 |
| 計 | 360 |
| 女子大便 | 84 |
| 女子小便 | 86 |
| 計 | 170 |
| 総計 | 530 |

注1, 男子大便・女子大便はバイオトイレ

注2, 男子小便・女子小便は浄化槽を通して自然流下方式

注3, バイオトイレの1日のマックスは90回

(※注) 環境省・環境技術実証モデル事業

環境省では、平成 11 年度より山岳トイレに補助金を交付することになったが、データも無く、全くの手探り状態で始まった。そこで平成 15 年度から、既に適用可能な段階でありながら環境保全効果等についての客観的な評価が行なわれていない先進的環境技術について、第三者が客観的に実証することにより技術の普及を図るため「山岳トイレの環境技術実証モデル事業」を開始しており、は今年度は環境技術実証事業として、「TSS汚水処理システム(非水洗)」と「同 (簡易水洗)」の 2 件が承認された。(開発者は共に (株) ティー・エス・エス)

記念講演 ・ 後藤利雄 氏 (大分県山岳連盟 会長)

演題「久住山避難小屋トイレの現状と課題」

後藤氏は、大分県高体連登山部顧問、同専門委員長を歴任され、大分県山岳連明理事長を 10 年間務められた後、2009 年春、会長に就任されました。

九重山系、祖母傾山系の地図を製作されたことはご存知の方も多いと思います。

久住別れのトイレは、昭和 37 年正月にホワイトアウトなどで道に迷った 7 名の若い男女が遭難死するという悲惨な事故が起きたことから、昭和 39 年に建設された避難小屋と同時に併設されたものです。

まだ登山者が比較的少なかった時期でも

り、現在のようにまで登山者が激増するとは誰も想定していなかったようで当時としてはこれで充分対応できると考えたのでしょうか。処理能力は 720/日ですが、昨年ミヤマキリシマの時期の利用者は 2000 人と極端なオーバーユースになっており、これに落ち葉などが詰まったりすれば、現在の土壌処理式の循環型のトイレが機能できないこともしばしば起こってるようです。

それに女子トイレは使用前に便器を拭いた後、使用することが多いようで、便器の周囲にトイレトーパーが山積みになっていることもよくあるそうです。

それに、冬場は凍結しているのに使用し、オーバーフローすることも多かったらしく、現在は冬期は閉鎖しているそうです。只その場合、トイレがあるものと期待し我慢してきた登山者がとる行動はあまり想像したくはありません。

このトイレの耐用年数はあと 10 年だそうで、現在の状況から見ても、単に時期が来たらオーバーホールする、というより有料化し施設を充実させる方法や携帯トイレブースの設置への変更などトイレそのものの有り様についてもそれ



後藤利雄氏

までに検討しておく必要があります。

今年の久住山の山開きでの登山者は2万人だそうで、外国人も多くなっており、文化の違いもあるのにトイレの説明は日本語のみとだそうで韓国語、英語等での表示が必要だとも指摘されておりました。

後藤さんは九州の場合、山でのトイレマナーは東北、北海道等は別格としてもその他の地域に比してまだまだ低いとの認識されており、久住山だけの問題ではなく、登山者、特に日常、山との関わりの少ない一般登山者やバス会社やツアー会社に対する啓蒙が重要だが、何よりも「登山の前に用を足しておく！」を強調されました。

◎ 水質調査に参加してみませんか？

今年度の活動方針でも触れておりますが、福岡県山岳連盟が行なう水質調査に参加、協力します。今回は宝満山です。時間が若干？早いですが、どんなことをやるんだろう？どんな結果が出るんだろう？など興味をお持ちの方は参加されては？

*日 時 9月26日(土) 午前7時 竈門(かまど)神社駐車場

*水の採取箇所は3ヶ所で、1ヶ所の所要時間は概ね30分、行動時間も含め午前中での終了を予定しています。参加希望の方は、ラリグラス(092-712-8909)の 貞刈(さだかり)さんまでご一報ください。

◎お知らせ

- ・ 水質調査 9/27(日) 皿倉山、尺岳、福智山 各山域で調査。
希望者は(093-651-8582) 瀧口氏まで
- ・ 山のトイレ調査 11/1(日) 英彦山 紅葉真っ盛り!
- ・ 宝満山登山会(RKB主催) 11/3(文化の日)

編集後記

今年になり、九州でも屋久島や霧島山域で携帯トイレの使用試験やキャンペーンが行われたことは朗報ですが、使用後の回収方法など問題もあり多くの山の場合、当面使用後は各人が持ち帰って処理するしかなさそうです。1日も早く解決策が見つかることを期待したいものです。

(編集責任者 矢田)

山のトイレ協議会通信 第3号
発行日 2009年9月10日

山のトイレ、環境を考える福岡協議会
〒818-0115
太宰府市内山708番地
九州登山情報センター内
TEL 092(928)2729